

# shindaiwa<sup>®</sup>

## 取扱説明書

# ライトカッター（砥石切断機） L150C



**注意**

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

L150C  
X750-026 50 1  
X750810-240 1



## はじめに

このたびは、新ダイワのライトカッター（砥石切断機）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
ございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
  - 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。
  - 本機を使用した作業や本機の取り扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。関連する法律について不明な点がありましたら、お求めの販売店にご相談ください。
  - 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
  - この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。
  - ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
  - 本機を廃棄されるときは、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。
- この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

**⚠ 警告**：取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

**⚠ 注意**：取扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。

**<注意>**：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『**⚠ 注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 目次

1. 安全上の注意	2
2. 仕様	5
3. 用途	5
4. 各部の名称	6
5. 購入時の点検	6
6. 使用方法	7
6-1. ハンドルの取り付け	7
6-2. 砥石の交換	7
6-3. 電源への接続	9
6-4. スイッチの操作	10
6-5. バイスの操作	10
7. 切断作業	11
7-1. 作業前の点検・準備	11
7-2. 切断方法	12
7-3. 移動について	13
8. 点検・整備	13
8-1. 砥石の点検	14
8-2. 砥石取り付けの点検	14
9. 故障時の対応	14

## 1. 安全上の注意

### **⚠ 警告：感電 漏電により感電するおそれがあります**

- 雨中では使用しないでください。
- 本機がぬれたときは、完全に乾燥させて使用してください。
- 本機は接地（アース）して使用してください。
- 感電の危険性が高い所（水気の多い場所や鉄板の上など）での作業が必要となった場合は、必ず漏電しゃ断器が設置された電源を使用してください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。

### **⚠ 警告：感電 傷ついた電源コードで感電するおそれがあります**

- 電源コードに切断火花が掛からない位置に配線してください。
- 電源コードが傷ついたまま使用しないでください。
- 電源コードを油や薬品および高温なものに触れさせないでください。
- 電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。
- 砥石で切るなどして電源コードを傷つけたときは、切り口に触れずに、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

### **⚠ 警告：けが 砥石が不意に回りだし、けがをするおそれがあります**

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- スイッチを入れたまま、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 切断中に砥石が止まったときは、スイッチを切ってから、ハンドルを持ち上げてください。
- 停電になったときは、スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

### **⚠ 警告：けが 回転する砥石でけがをするおそれがあります**

- 切断材の取り付け、取り外しはスイッチを切って砥石が停止してから行ってください。
- 回転中の砥石に手や身体を近づけないでください。
- スイッチを入れたままでの放置や移動はしないでください。
- 改造したり、保護カバー（ホイールガードなど）を取り外して使用しないでください。

### **⚠ 警告：けが 砥石が異常に高回転となり、けがをするおそれがあります**

- 電源電圧が 230V を超えない範囲で使用してください。

### **⚠ 警告：けが 砥石の破片や切断火花などが飛散し、けがをするおそれがあります**

- 作業員以外を作業場に近づけないでください。
- ベッドの上や下にある障害物や切断片は、取り除いておいてください。
- 切断材は、切断中にずれないように、しっかりバイスで固定してください。  
また、切断材がずれた場合は、切断を中止してバイスを締めなおしてください。
- 切り落とし側が 100mm 以下の場合、切断材が飛ぶことがあるので、切り終わりはゆっくり押さえてください。
- 保護カバー（ホイールガードなど）を取り外して使用しないでください。
- 切断材に砥石を当ててスイッチを入れないでください。

- ヒビ割れ、欠け、曲がりや異常摩耗がある砥石は使用しないでください。
- 砥石を確実に締め付けて使用してください。
- 使用した工具は本機から取り外しておいてください。
- 純正砥石以外は使用しないでください。
- 砥石の延長線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（砥石の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないでください。
- 砥石の取り扱い（交換、試運転）は、法・規則で定められた特別教育を受けた人が行ってください。

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条
	労働安全衛生規則	第 36 条
	安全衛生特別教育規程	第 2 条

- 砥石の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 保護めがね、耳栓、安全靴を着用してください。
- 切断中、砥石に身体を近づけないでください。
- 砥石の側面は使用しないでください。

**⚠ 警告：けが 砥石に巻き込まれ、けがをするおそれがあります**

- 身体に合った衣服を着用し、そで口・胸元を整えてください。
- 手袋は、編み手袋を使用しないでください。
- ネクタイやアクセサリーなどのぶらつくものは身に付けしないでください。
- 長い髪は束ねて整えてください。

**⚠ 警告：けが 試運転せずに作業を開始すると、けがをするおそれがあります**

- 試運転を必ず励行してください。
 

砥石交換のとき	3 分間以上
その日の作業を始めるとき	1 分間以上
- 砥石の延長線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（砥石の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないでください。

**⚠ 警告：爆発 火花が発生し、ガスに引火するおそれがあります**

- アース線をガス管に接続しないでください。

**⚠ 注意：けが 本機が落下して、けがをするおそれがあります**

- 本機を移動するときは、必ずキャリーハンドルを持って移動してください。

**⚠ 注意：やけど 切断火花や高温になった切断材で、やけどをするおそれがあります**

- 手袋・帽子・長袖・長ズボンなどを着用し、できるだけ肌を露出しない服装で作業を行ってください。
- 切断直後は、素手で切断材・砥石などに触れないでください。

**⚠ 注意：火災 モーターのブラシから出る火花や切断火花で、火災になるおそれがあります**

- ガソリン、シンナー、ガスなど、引火性のある危険物や可燃物をまわりに置かないでください。

**⚠ 注意：火災** 電源コードの接触不良・内部断線・短絡による発熱および放熱不足で、火災になるおそれがあります

- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグは、根元までしっかりコンセントに差し込んでください。
- 電源コードをストーブなどの高温にさらさないでください。

**⚠ 注意：感電** 絶縁が低下し、感電するおそれがあります

- 本機は、水にぬれる所や湿気の多いところで保管しないでください。

**⚠ 注意：けが** 呼吸器疾患をおこすおそれがあります

- 粉じんが発生する切断作業は防塵マスクを着用してください。

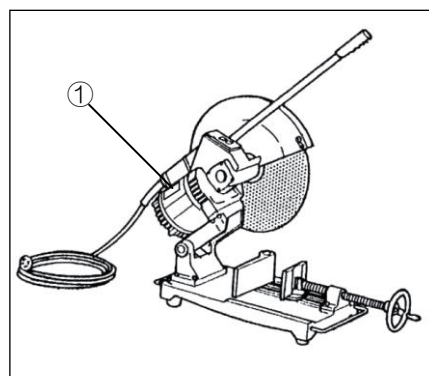
**⚠ 注意：けが** 高速で回転する砥石でけがをするおそれがあります

- ライトカッター（砥石切断機）は高速で回転する砥石で鉄鋼材などを切断する機械です。けがや事故、故障の原因となりますので、この用途以外で使用しないでください。

#### ■警告ラベル貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（ ）内の番号で注文してください。

①保護めがね 他 （品番：X505-005600）



## 2. 仕様

モデル名	L150C	
定格電圧(V)	三相 200	
周波数(Hz)	50/60	
定格電流(A)	12/10	
定格消費電力(W)	2900/2800	
無負荷主軸回転速度(min <sup>-1</sup> )	2000/2400	
無負荷砥石周速度(m/s)	43(2550m/min)/51(3050m/min)	
砥石サイズ(mm)	φ405(16インチ)×t3×φ25.4	
固定バース揺動角度(°)	±45(90)	
バースつかみ幅(mm)	179	
切断能力	角材 W×H(mm)	150×100
	丸材(mm)	φ145
コード長さ(m)	5(2mm <sup>2</sup> ×4 芯)	
外形寸法 L×W×H(mm)	925×299×498	
質量(kg)	32	

※仕様は予告なく変更することがあります。

## 3. 用途

本機は、高速で回転する砥石で鉄鋼材などの切断ができます。

標準砥石で切断できる材料

- 鉄
- ステンレス

標準砥石で切断できない材料

- アルミニウムなどの鉄・ステンレス以外の金属
- 非金属

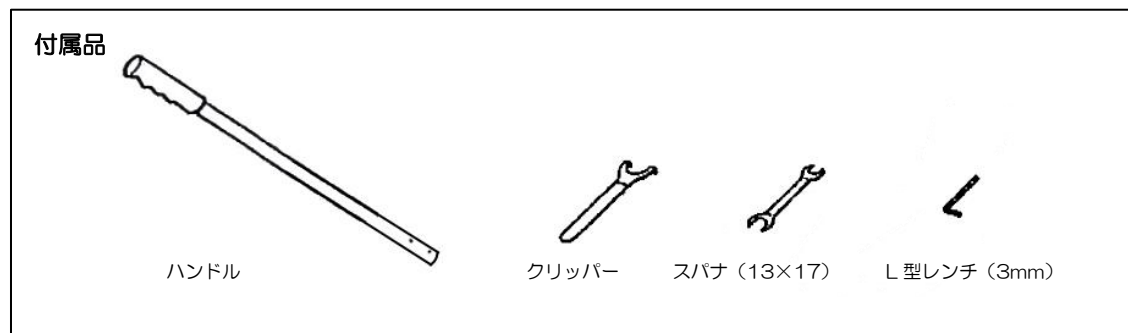
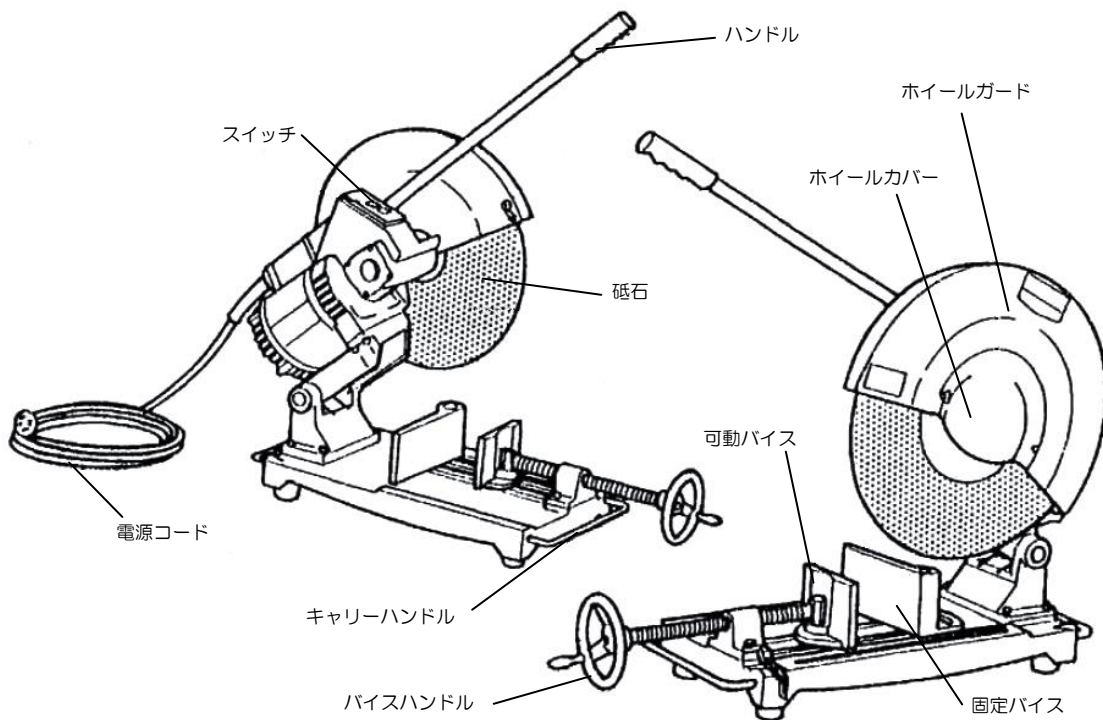
詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

### 注意：けが

- ライトカッター（砥石切断機）は高速で回転する砥石で鉄鋼材などを切断する機械です。けがや事故、故障の原因となりますので、この用途以外で使用しないでください。



## 4. 各部の名称



## 5. 購入時の点検

### ⚠ 警告：けが

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

箱から本機を取り出して、次の点検を行ってください。

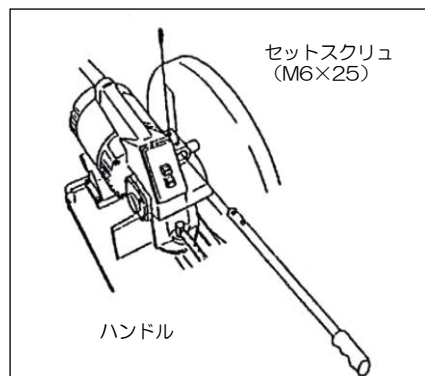
- 本機の外観に損傷がないか
- ネジ類のゆるみや脱落がないか
- 付属品に欠品がないか

異常や欠品があったときは、お求めの販売店へご連絡ください。

## 6. 使用方法

### 6-1. ハンドルの取り付け

付属のハンドルをギヤケースのハンドル用穴に入れ、ギヤケースに仮止めしているセットスクリュ（M6×25）2本をハンドルの穴（右図のⒶ）に入れるように合わせ、付属のL型レンチでセットスクリュを締め付けます。



### 6-2. 砥石の交換

#### ⚠ 警告：けが

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 砥石を確実に締め付けて使用してください。
- 使用した工具は、本機から取り外しておいてください。
- 純正砥石以外は使用しないでください。
- 砥石の延長線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（砥石の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないでください。
- 砥石の取扱い（交換、試運転）は、法・規則で定められた特別教育を受けた人が行ってください。

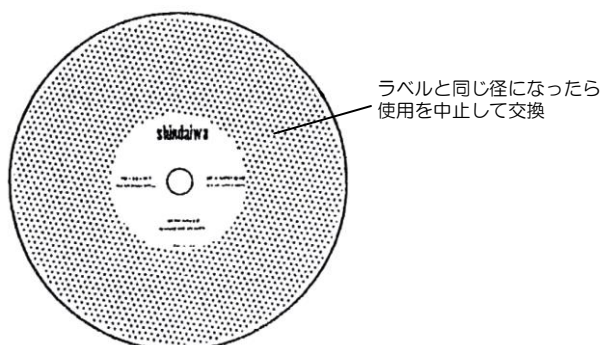
砥石の交換は次の手順で行ってください。

#### (1) 砥石について

外径 405mm（16 インチ）×厚さ 3mm×穴径 25.4mm

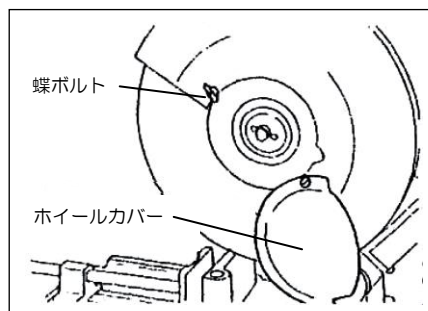
最高使用周速度 72m/s（4300m/min）（補強入レジノイド切断砥石）

砥石が摩耗してラベルの径と同じになったら交換してください。

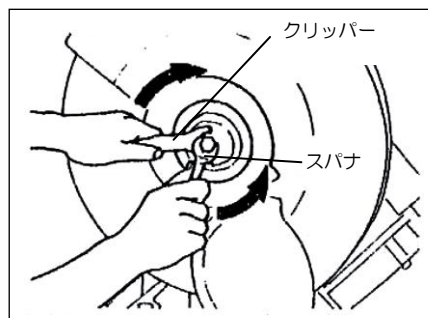


## (2) 取り外し

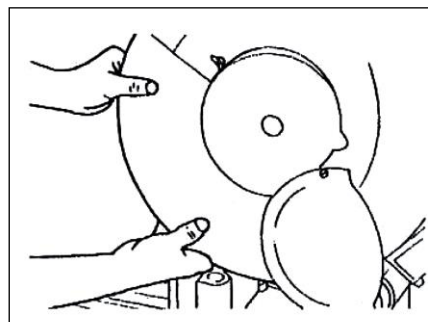
① ↓ ホイルカバーの蝶ボルトをゆるめ、ホイルカバーを開きます。



② ↓ クリッパーのつめをアウターフランジの2つの穴に入れ、アウターフランジを固定して締付ボルトをスパナ(13×17)で外し、アウターフランジを外します。



③ ↓ 砥石をシャフトから外します。



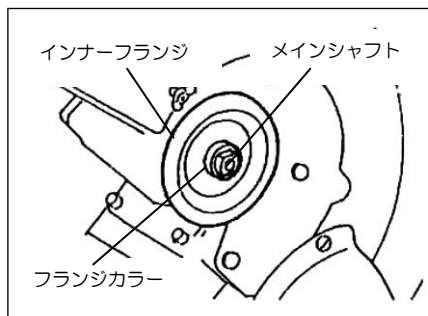
## (3) 取り付け

メインシャフト、インナーフランジ、フランジカラーなどに付いている切りくずなどを取り除きます。

特にインナーフランジに切りくずが残っていると、砥石がぶれるので注意が必要です。

あとは取り外した逆の手順で取り付けます。

取り付け後は必ず試運転を行ってください。



## (4) 試運転

砥石交換後や使用前には必ず試運転を行って、本機と砥石に異常がないことを確認してください。

砥石交換のとき	3分間以上
その日の作業を始めるとき	1分間以上

### 6-3. 電源への接続

#### (1) 電源コードと電源プラグ

##### **警告：感電**

- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。
- 電源コードに切断火花が掛からない位置に配線してください。
- 電源コードが傷ついたまま使用しないでください。
- 電源コードを油や薬品および高温に触れさせないでください。
- 電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。
- 電源コードを傷つけたときは、切り口に触れずに、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

##### **注意：火災**

- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグは、根元までしっかりコンセントに差し込んでください。
- 電源コードをストーブなどの高温にさらさないでください。

#### (2) 接地（アース）と漏電しゃ断器

##### **警告：感電**

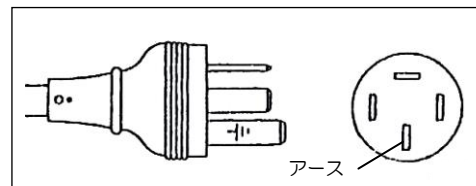
- 本機は接地（アース）して使用してください。
- 感電の危険性が高い所（水気の多い場所や鉄板の上など）での作業が必要となった場合は、必ず漏電しゃ断器が設置された電源を使用してください。

##### **警告：爆発**

- 本機のアース線をガス管に接続しないでください。

接地極（アース板、アース棒）が地中に埋められた接地線が設備されていない場合は、接地工事が必要です。

この接地工事には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。接続する電源に漏電しゃ断器が設置されていることを確認してください。



#### (3) 電圧と延長コード

##### **警告：けが**

- 電源電圧が 230V を超えない範囲で使用してください。

本機の使用電源は3相交流 200V です。電源コードを延長するときは、電圧降下を起こさないよう十分な太さのできるだけ短い延長コードを使用してください。

下表は、コードの太さに対し、本機に使用できるコード長さを示します。

コードの太さ（公称断面積）	2mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>
延長コードの長さ	15m 以内	30m 以内	50m 以内

## 6-4. スイッチの操作

### **警告：けが**

- 回転中の砥石に手や身体を近づけないでください。
- スイッチを入れたままでの放置や移動はしないでください。

スイッチの「ON」を押すと砥石が回転し、「OFF」を押すと砥石の回転が停止します。

「ON」で砥石が回転を始めたとき、回転の反動で砥石が上下に動きますのでハンドルを握って支えておいてください。

「OFF」を押しても、しばらく砥石が慣性で回りますので注意してください。

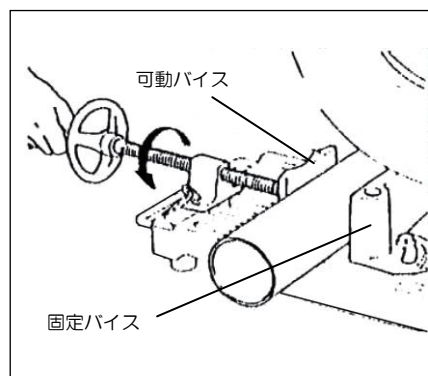
## 6-5. バイスの操作

### **警告：けが**

- 切断材の取り付け取り外しは、スイッチを切って砥石が停止してから行ってください。

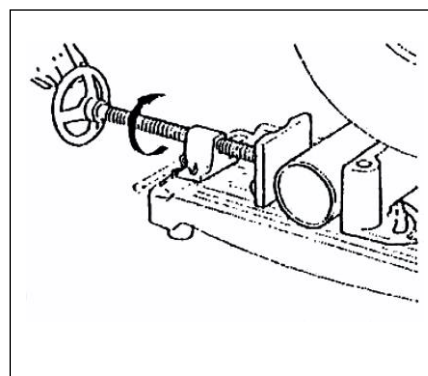
### (1) 締め付け方

可動バイスと固定バイスの間に切断材を入れ、バイスハンドルを右に回して切断材を確実に締め込みます。(切断材が動かないことを確認してください)



### (2) 取り外し方

バイスハンドルを左に回してゆるめ、切断材を取り外します。



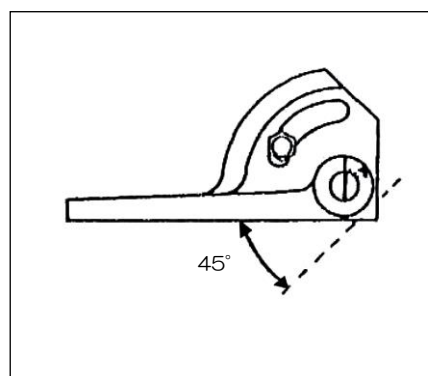
### (3) 角度切りについて

ボルトをゆるめ、固定バイス角度目盛を希望の角度に合わせて締め付けてください。

45° までの角度切りが可能です。

### <注意>

- 角度切りを行う場合は特に切断材をしっかりと固定してください。
- 切断材が動いた場合、砥石破損の原因となります。



## 7. 切断作業

### 7-1. 作業前の点検・準備

#### 警告：感電

- 電源コードが傷ついたまま使用しないでください。

#### 警告：けが

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- スイッチを入れたまま、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ベッドの上や下にある障害物や切断片は、取り除いておいてください。
- ヒビ割れ、欠け、曲がりや異常摩耗がある砥石は使用しないでください。
- 砥石を確実に締め付けて使用してください。
- 使用した工具は、本機から取り外しておいてください。
- 純正砥石以外は使用しないでください。
- 砥石の延長線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（砥石の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないでください。
- 砥石の取扱い（交換、試運転）は、法・規則で定められた特別教育を受けた人が行ってください。
- 保護めがね、耳栓、安全靴を着用してください。

#### 注意：けが

- 手袋・帽子・長袖・長ズボンなどを着用し、できるだけ肌を露出しない服装で作業を行ってください。

#### 注意：火災

- ガソリン、シンナー、ガスなど、引火性のある危険物や可燃物をまわりに置かないでください。
- 電源プラグは、根元までしっかりコンセントに差し込んでください。

#### 注意：けが

- 粉じんが発生する切断作業は、防塵マスクを着用してください。

作業前の点検・準備は、次の手順で行ってください。

- 1 作業場の障害物・引火性のある危険物・可燃物を取り除きます。
- 2 砥石にヒビ割れ、欠け、曲がりや異常摩耗がないか点検します。（『8-1. 砥石の点検(P.14)』の項を参照）
- 3 砥石の締め付けボルトが緩んでいないか点検します。（『8-2. 砥石取り付けの点検(P.14)』の項を参照）
- 4 電源コードが傷ついていないか点検します。
- 5 電源コードを電源に接続します。（『6-3. 電源への接続(P.9)』の項を参照）
- 6 保護めがねと耳栓を着用します。
- 7 試運転をして、異常振動（砥石の面振れ）・異常音がないか確認します。

## 7-2. 切断方法

### 警告：感電

- 雨中では使用しないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。
- 電源コードに切断火花が掛からない位置に配線してください。
- 電源コードを油や薬品および高温に触れさせないでください。
- 電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。  
電源コードを傷つけたときは、切り口に触れずに、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 警告：けが

- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 切断材は、切断中にずれないように、しっかりバイスで固定してください。  
また、切断材がずれた場合は、切断を中止してバイスを締めなおしてください。
- 切り落とし側が100mm以下の場合、切断材が飛ぶことがあるので、切り終わりはゆっくり押さえてください。
- 保護カバー（ホイールガードなど）を取り外して使用しないでください。
- 切断材に砥石を当ててスイッチを入れないでください。
- ヒビ割れ、欠け、曲がりや異常摩耗がある砥石は使用しないでください。
- 切断直後は、素手で切断材・砥石などに触れないでください。

### 注意：火災

- ガソリン、シンナー、ガスなど、引火性のある危険物や可燃物をまわりに置かないでください。
- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源コードをストーブなどの高温にさらさないでください。

切断作業は次の手順で行ってください。

- 1 切断材をバイスでしっかりと固定します。（『6-5. バイスの操作（1）締め付け方（P.10）』の項を参照）
- 2 スイッチを入れます。
- 3 砥石の回転が完全に上がってから、ハンドルを下げて砥石をゆっくり切断材の上におろします。

#### <注意>

- 砥石を急激に切断材に当てないでください。

- 4 そのまま軽くハンドルを押し下げて切断します。  
砥石から出る切断火花が一番多く出る状態になるよう力を加減します。  
この状態が砥石やモーターに無理が加わらず、一番早く切断できます。

#### <注意>

- 無理にハンドルを押さえないでください。切断効率が悪くなり、砥石の割れ、モーター焼損の原因になります。

5 ↓ 切断が終わったらハンドルを持ち上げてスイッチを切ります。

6 ↓ 砥石が完全に止まってから、切断材を本機からはずします。

7 ↓ ベッドの上下にある切り粉や切断片を取り除きます。

### 7-3. 移動について

#### ⚠ 警告：感電

- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。

#### ⚠ 注意：火災

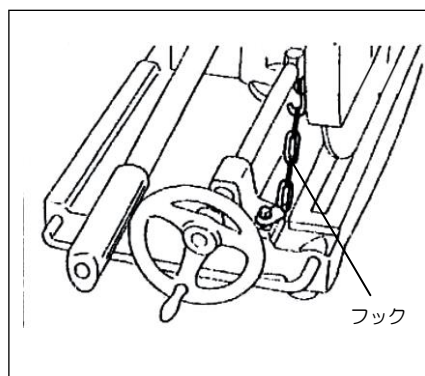
- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

#### ⚠ 注意：けが

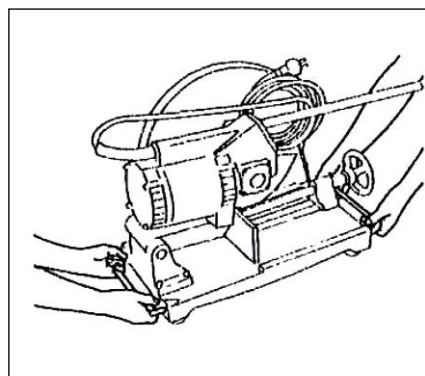
- 本機を移動するときは、必ずキャリーハンドルを持って移動してください。

1 ↓ 電源プラグを電源から抜きます。

2 ↓ チェーンをフックに引っ掛けて固定します。



3 ↓ キャリーハンドル部を持って移動します。



## 8. 点検・整備

本機を常に良好な状態で使用できるよう、定期的に点検・整備を行ってください。

#### ⚠ 警告：けが

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ヒビ割れ、欠け、曲がりや異常摩耗がある砥石は使用しないでください。
- 砥石の延長線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（砥石の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないでください。



砥石の異常や取り付けが悪いまま使用すると、異常振動や異常過熱を起こし、砥石や本機が破損するおそれがあります。

### 8-1. 砥石の点検

作業前に必ず砥石を点検し、ヒビ割れ、欠け、曲がりや異常磨耗がないか確認してください。

### 8-2. 砥石取り付けの点検

次の点検を行い、異常があるときは交換・整備を行ってください。

- 面振れ  
本機に取り付けて回転させたときの砥石側面の押し。
- ボルトの締め付け

## 9. 故障時の対応

#### 警告：感電

- 本機がぬれたときは、完全に乾燥させて使用してください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。

#### 警告：けが

- 点検・整備、砥石の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。

点検しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申し付けてください。

症状	推定原因	処置
回転しない	1. 電源ブレーカーの作動 2. 電源コードの断線 3. スイッチの故障 4. モーターの故障	1. 電源ブレーカーをリセットする 2. 販売店で修理する 3. 販売店で修理する 4. 販売店で修理する
振動が大きい	1. 砥石のヒビ割れ・欠け・曲がり	1. 砥石を交換する
切れ味が悪い	1. 砥石の寿命 2. 砥石の面振れ	1. 砥石を交換する 2. 砥石とフランジの当たり面を清掃する
力が弱い	1. 砥石とフランジのすべり 2. 延長コードが長い、または細い 3. モーターの故障	1. ボルトを確実に締め付ける 2. 適正な延長コードを使用する 3. 販売店で修理する
モーターの過熱	1. 切断時の押さえ力が強い	1. 押さえ力を小さくして切断する





# 株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

## ● やまびこ産業機械株式会社

〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2005 (代)

### ▪ 東北支店

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50 Tel 022-390-5001 (代)

### ▪ 札幌営業所

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20 Tel 011-891-3116 (代)

### ▪ 関東支店

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-6777 (代)

### ▪ 首都圏営業所

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西6-1-7 Tel 03-3687-5771 (代)

### ▪ 中部支店

〒454-0826 愛知県名古屋市中川区小本本町1-75 Tel 052-362-2281 (代)

### ▪ 関西支店

〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川4-11-20 Tel 06-6561-8484 (代)

### ▪ 中四国支店

〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2400 (代)

### ▪ 九州支店

〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田3-5-22 Tel 092-411-9801 (代)

### ▪ 鹿児島営業所

〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2-23-18 Tel 099-257-6801 (代)

## ● やまびこ北海道株式会社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

## ● やまびこ東北株式会社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

## ● やまびこ東部株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

## ● やまびこ中部株式会社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39 Tel 052-502-4111 (代)

## ● やまびこ西部株式会社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

## ● やまびこ九州株式会社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。